

「消防防災科学技術研究推進制度」平成31年度研究開発課題の募集概要

テーマ設定型研究開発 ※消防庁があらかじめテーマを設定

区 分	概 要
重要研究開発プログラム	「統合イノベーション戦略」（平成30年6月15日閣議決定）等の政府方針や消防機関のニーズを踏まえ定めた重点研究開発目標を達成するため、消防研究センターにおける直接研究や消防庁の調査検討事業等に資する技術の研究開発を募集
重要施策プログラム	以下の分野について、消防庁の重要施策の推進に資する技術の研究開発を募集 [募集する技術の例] ○ 熱中症による救急搬送の傾向の分析 ○ 布団類や衣類に特化した防災処理方法等の研究

テーマ自由型研究開発 ※テーマ設定を含め提案を受付

区 分	概 要
現場ニーズ対応型研究開発事業	消防機関が直面する課題を解決するためのシーズを活用した研究開発で、消防機関等の具体的ニーズとその成果の導入が見込める研究開発を募集します。
地域スキーム導入型研究開発事業	地域の消防防災力の向上を実現するため、学術研究に基づく効果的なスキームをモデル地域に導入するとともに、他の地域への展開を目指す研究開発を募集します。

各区分における申請経費の上限、実施期間等

区 分	概 要	申請経費の上限		実施期間
		テーマ設定型研究開発	テーマ自由型研究開発	
実用可能性調査 (フェーズ1)	消防防災でのニーズ調査や、技術シーズを保有している大学・企業等が実装化に向けて必要となる基礎研究のための実用可能性調査を実施するフェーズ。	260万円/年度	260万円/年度	1年間
基盤研究 (フェーズ2)	消防防災分野に必要とされるニーズをすでに把握しており、要素技術の信頼性、品質の向上、システム的设计・運用に関する研究開発やプロトタイプの作成など、実装化に向けて必要となる基盤研究を実施するフェーズ。	2,600万円/年度	1,300万円/年度	1~2年間
社会実装支援 (フェーズ3)	消防防災分野に必要とされるニーズを把握した上での基盤研究が終了しており、社会実装を目指し、モデル消防本部への配備や実践タイプの製作等の研究を実施するフェーズ。	5,000万円/年度	2,500万円/年度	1~2年間

※申請経費が少額であり、成果を達成する見込みの高い優れた申請がある場合は、予算の枠の中で予定件数以上の採択を行う場合があります。